

# 大東銀行の 経営健全化の進展

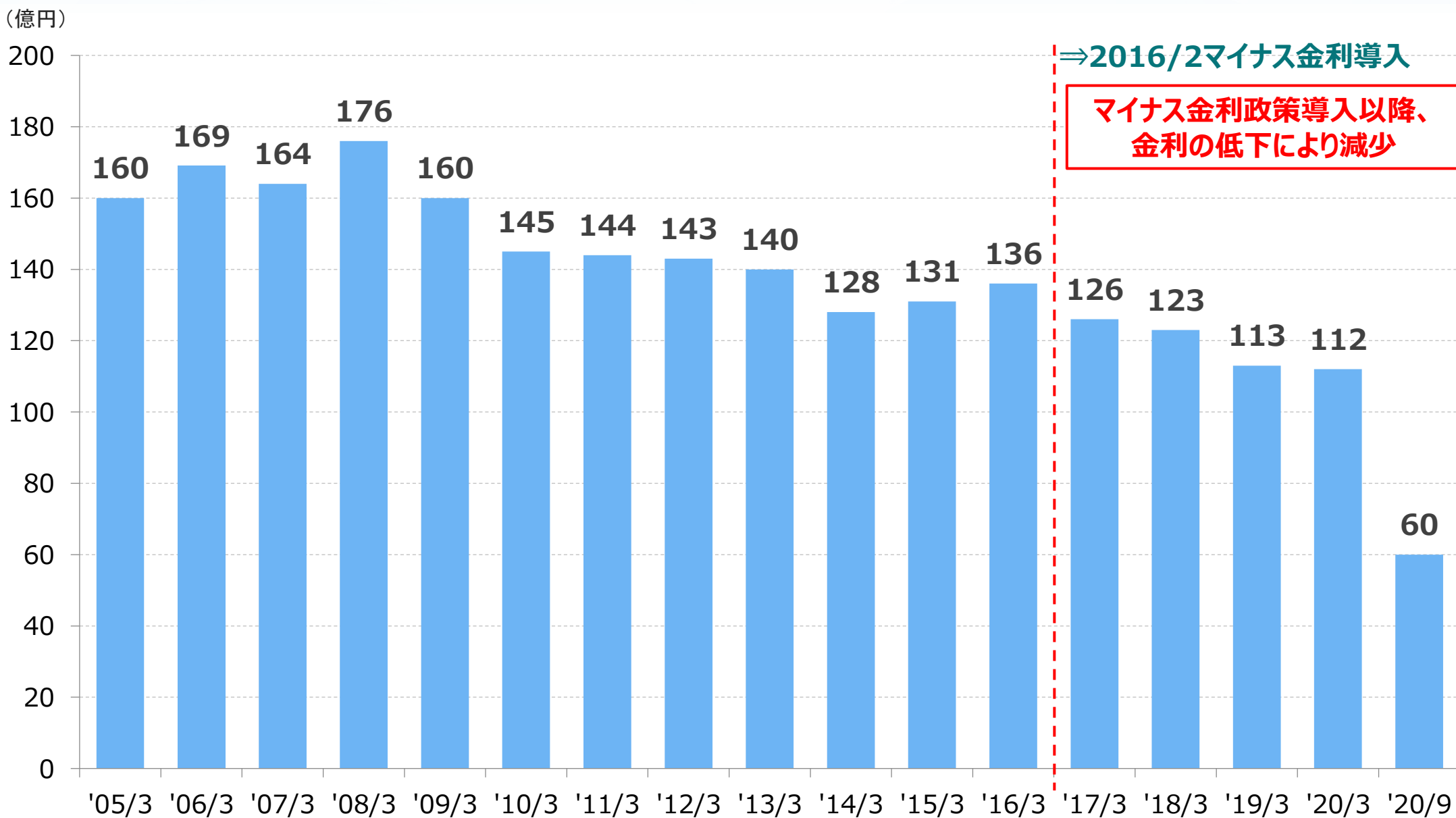
# 目次

## 〔主要指標の推移〕

■ 1. 経常収益の状況	.....2
■ 2. 経常利益、当期純利益の状況	.....3
■ 3. 総預金+預り資産残高の推移	.....4
■ 4. 貸出金の推移	.....5
■ 5. 与信費用の状況	.....6
■ 6. 不良債権（開示債権）の状況	.....7
■ 7. 自己資本の状況	.....8
(参考) 2020年度中間期の業績	.....9

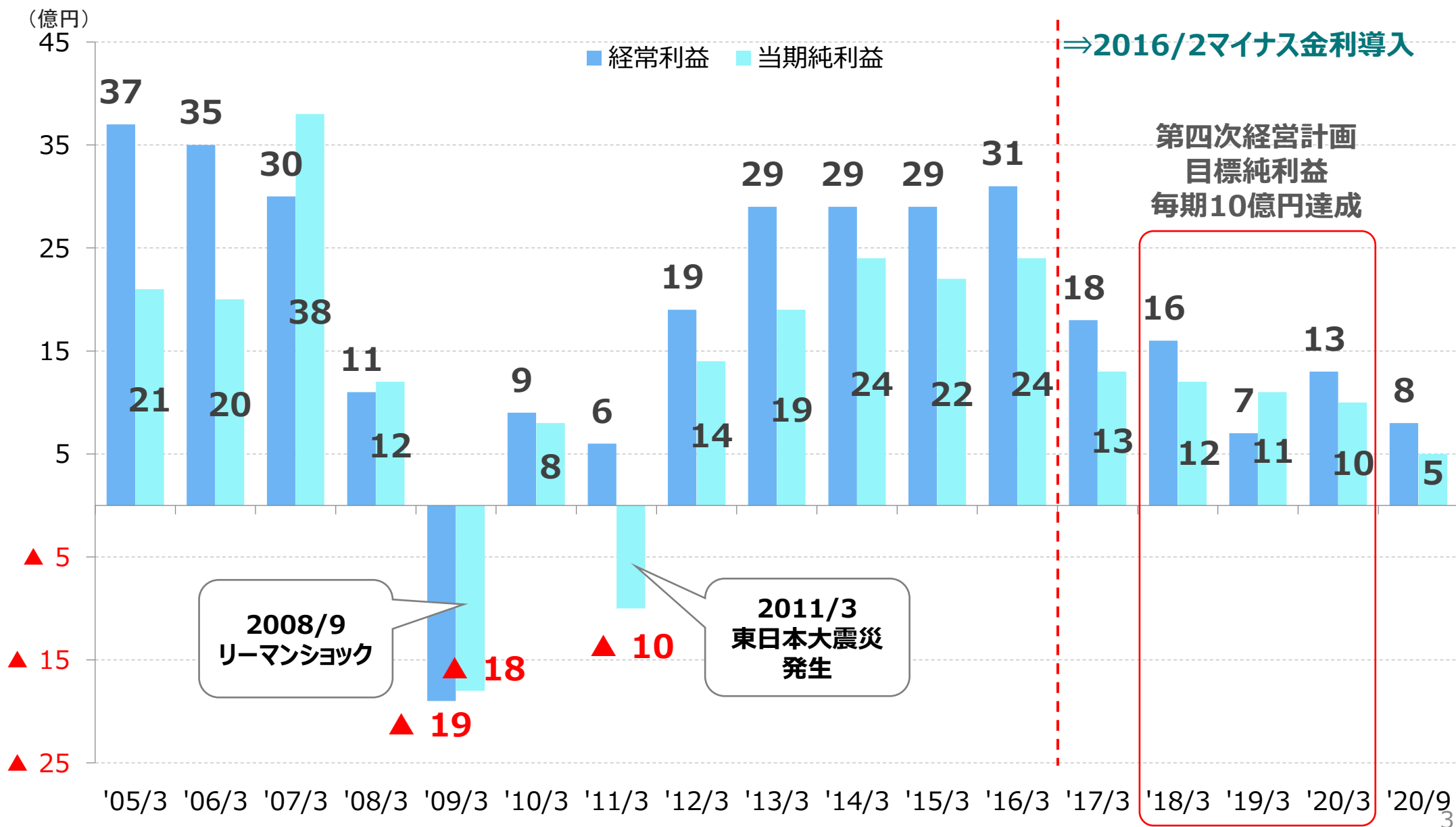
# 1. 経常収益の状況

2015/3期以降一時回復していたものの、マイナス金利政策等の影響で減少傾向。



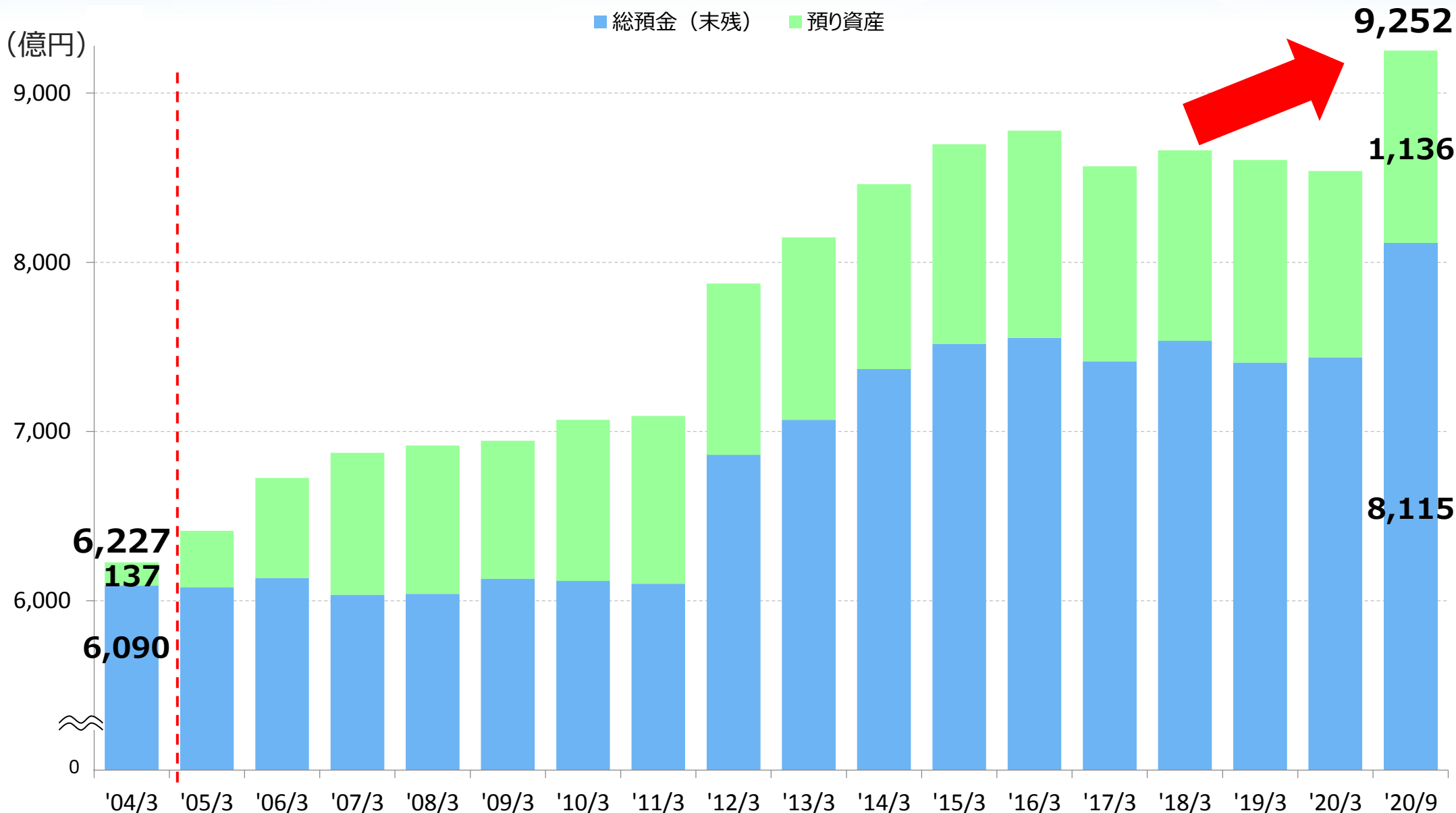
## 2. 経常利益、当期純利益の状況

2005/3期以降、リーマンショックと東日本大震災発生を除き、**ほぼ計画を達成し毎期利益計上**。  
 また、第四次経営計画期間（2017.04～2020.03）の**純利益目標10億円を3期連続で達成**。  
 さらに、第五次経営計画の1年目の当中間期も**目標（純利益7億円/年）を上回るペースで推移**。



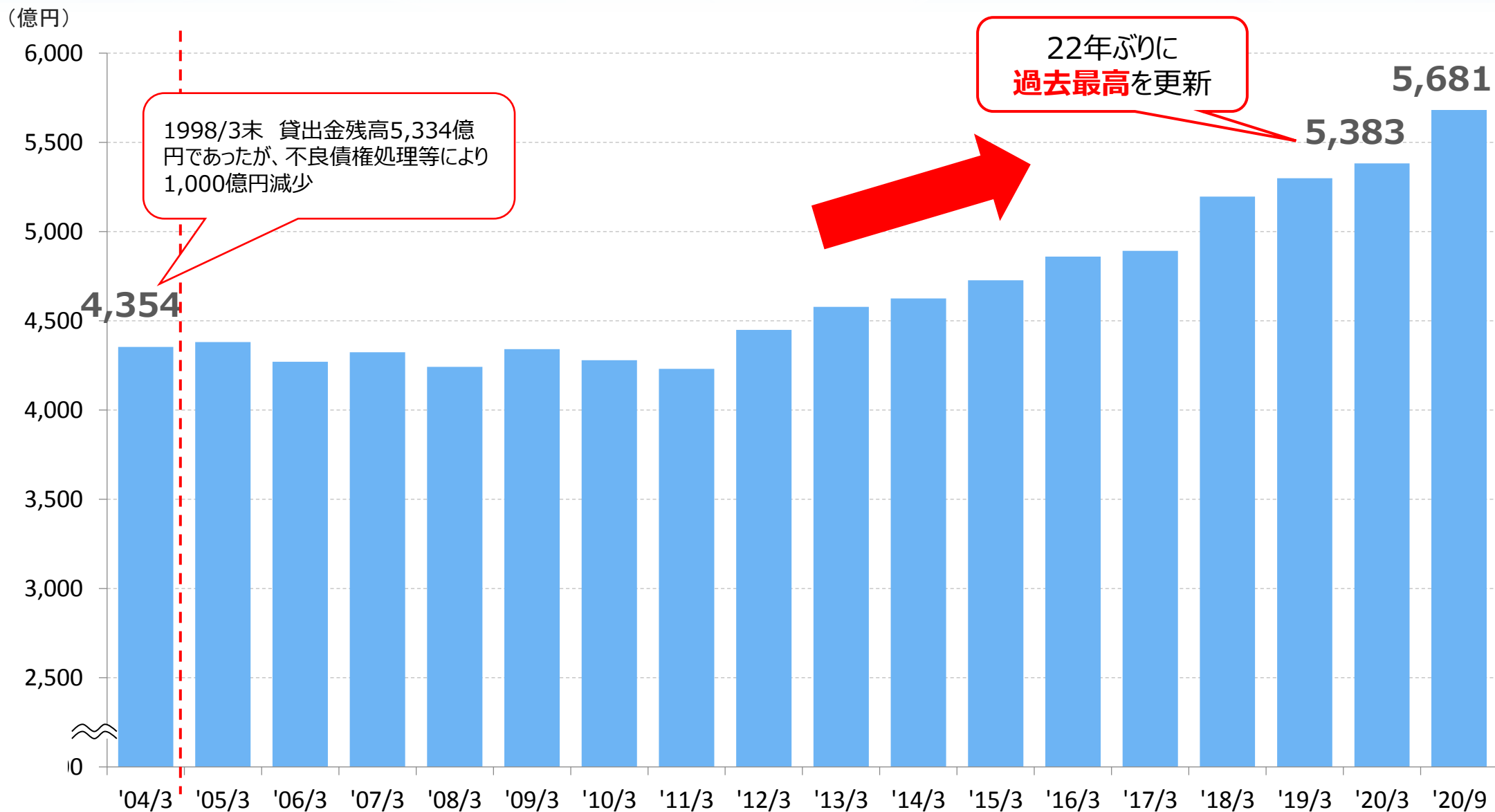
### 3. 総預金 + 預り資産残高の推移（単体）

2020/9末の総預金 + 預り資産残高は、コロナ対策資金等により増加基調にあり、はじめて**9,000億円を突破**。



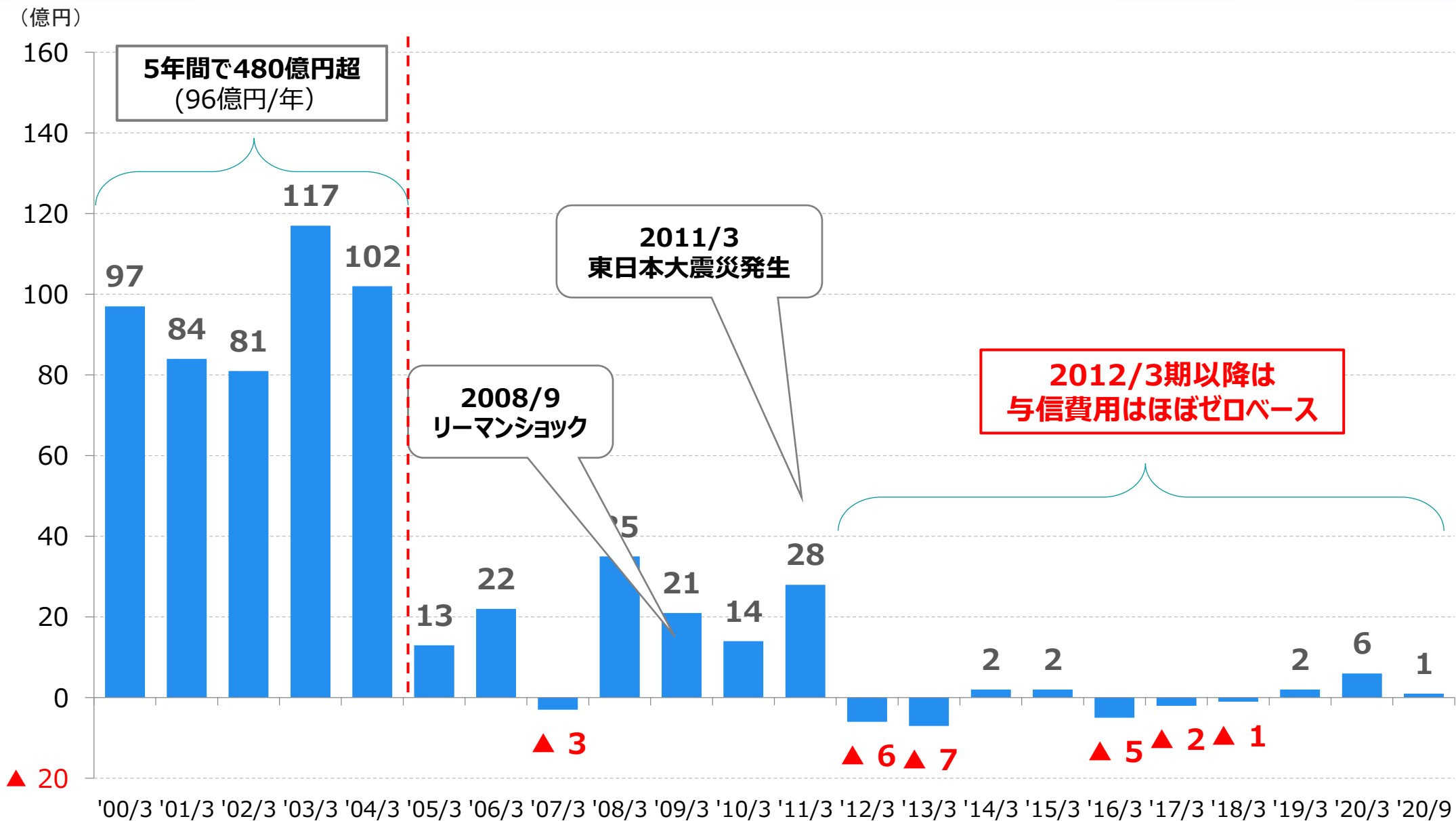
## 4. 貸出金の推移（単体）

2020/3末の貸出金残高は、期末時点で1998/3末以来**22年ぶりに過去最高を更新**。  
また、新型コロナウイルス対策の資金繰りのご支援等により、2020/9末では**更に約300億円増加**。



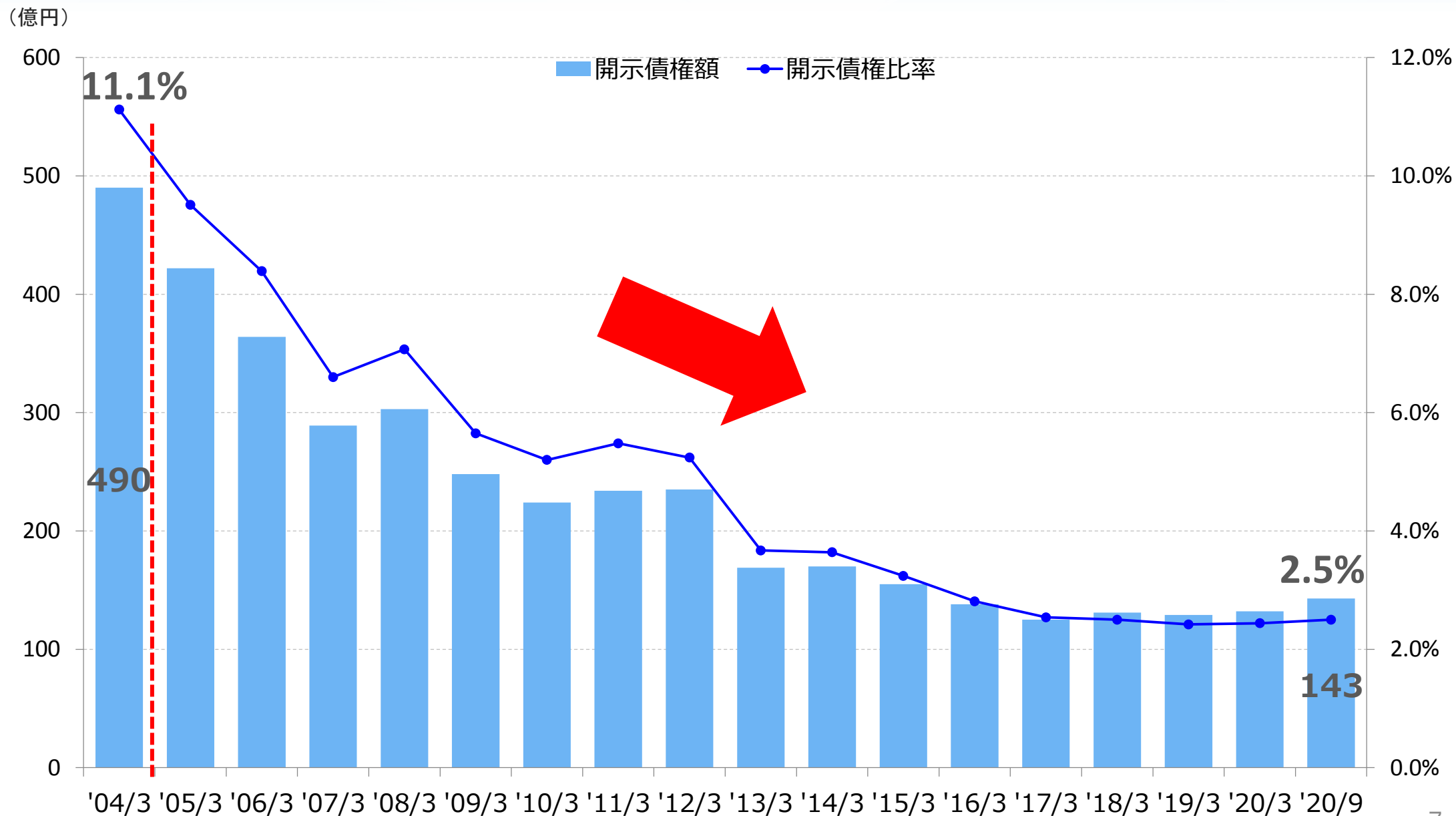
# 5. 与信費用の状況（単体）

2000/3期から2004/3期の5年間では年間約100億円もの与信費用がかかっていた。  
しかし、与信リミットの厳格化により、与信費用は大幅に減少。



## 6. 不良債権（開示債権）の状況（単体）

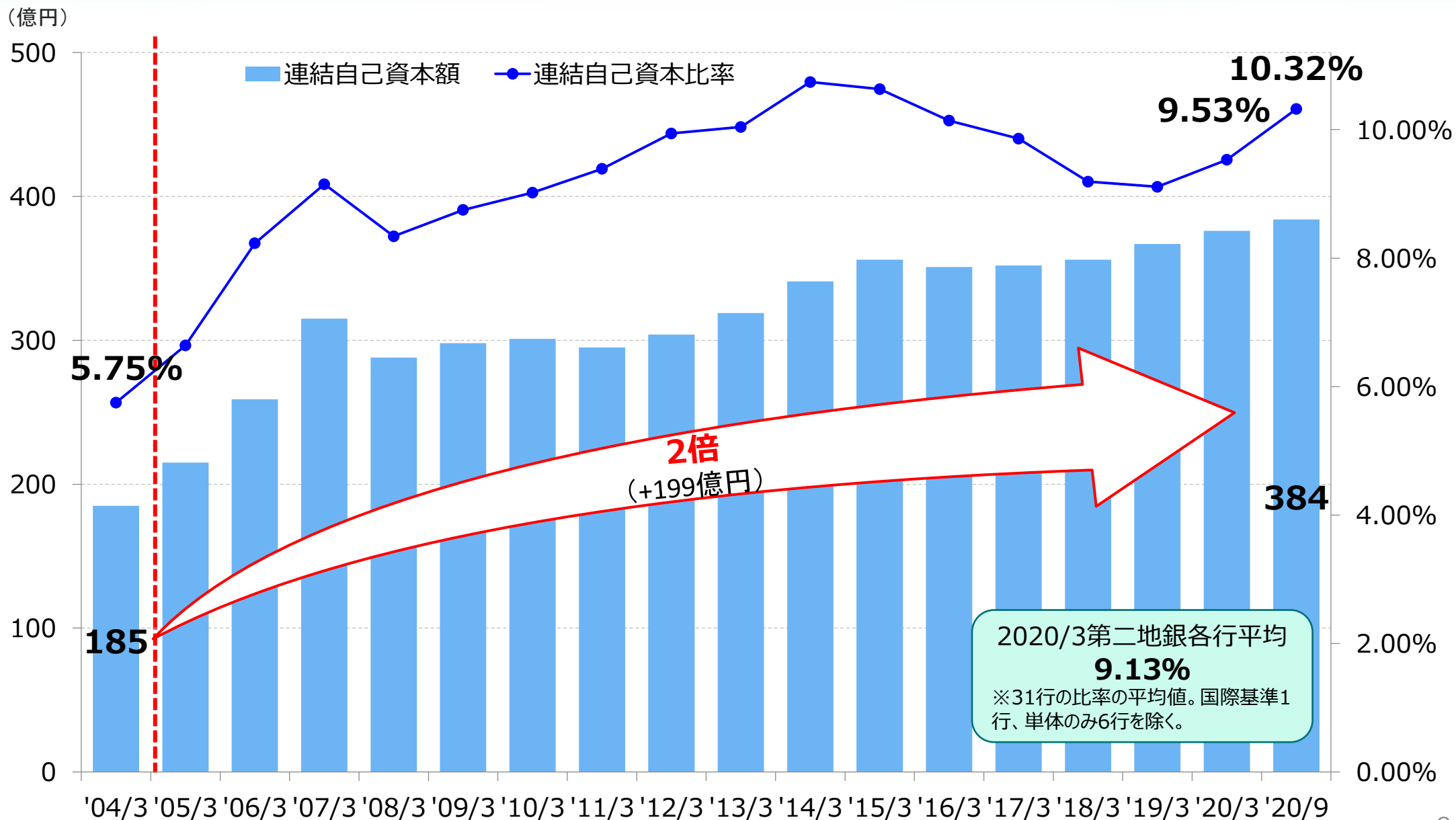
開示債権は、2004/3末比で約1/4に減少、開示債権比率は8.6%低下。  
なお、足もとでは新型コロナウイルス対策の資金繰りの積極的なご支援等により増加。





# 7. 自己資本の状況（連結）

連結自己資本比率は、2020/3末で9.53%となり、**第二地銀各行平均(※)を上回る**。  
2020/9末ではさらに上昇し、自己資本比率**10%台に回復**。



# (参考) 2020年度中間期の業績

貸出金利息の増加に伴う資金利益の増加や、預り資産手数料の増加等に伴う役務取引等利益の増加などから、2020年度中間期は、**前年同期比増収増益**の決算となりました。中間期での増収増益は2015年度以来5期ぶりとなります。

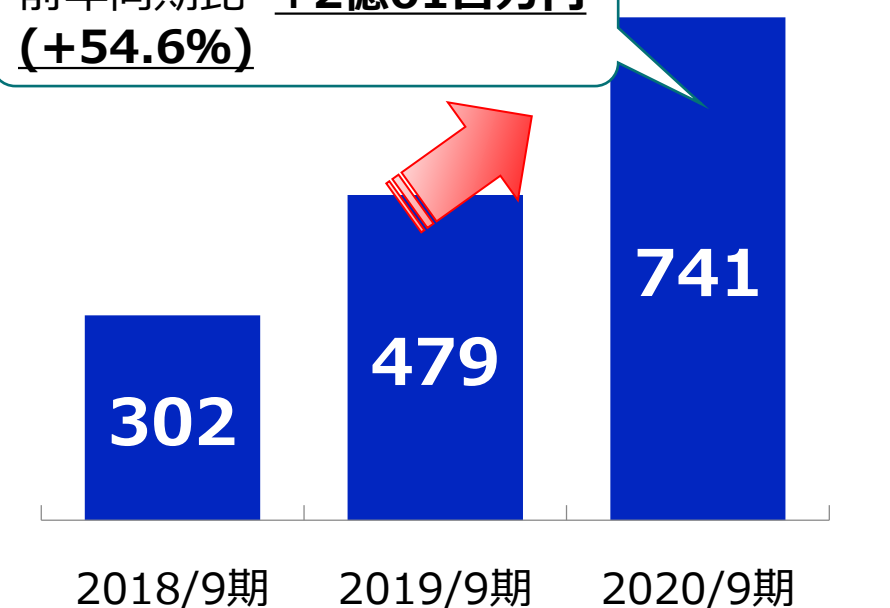
## 単体

(単位：百万円)

区分 \ 期別	2019/9期	2020/9期	増減
経常収益	5,558	6,064	505
経常利益	639	809	170
資金利益	3,841	4,045	203
役務取引等利益	751	811	59
中間純利益	493	539	45
コア業務純益(投信解約損益除く)	479	741	261
与信関連費用	333	194	△139
総資金利鞘	-0.03%	0.08%	0.11%
お客さま向けサービス業務利益率	-0.03%	0.02%	0.05%

## コア業務純益(除く投資信託解約損益)※

前年同期比 **+2億61百万円** (単位：百万円)



※コア業務純益(除く投資信託解約損益)  
貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあらわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動要因を除いたもの。

本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいませようお願いします。

本資料に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

**大東銀行 経営部 広報担当**

Tel.024-925-3872 (ダイヤルイン)